

「立ち上がる農山漁村」選定案概要書

取組分野：【交流】

1. 都道府県、市町村 鳥取県^{こうふちょう}江府町
2. 事業者名 貝田集落
3. 取組みの名称 米と伝統文化と景観の里
4. 取組概要等

概要

貝田集落は江府町のほぼ中央に位置し、大山の南壁を正面に仰ぐ開かれた台地に位置している、標高約310mの中山間地域である。

従来から稲作中心の経営で、水田面積が55.9ha、1戸あたりの面積が1～2haの農家が多く、町内平均を上回る比較的大きな農業経営である。野菜はネギを多少生産・出荷しているが、その他の野菜はほとんどが自給用で栽培されている。

貝田集落を始めとする中山間地域は過疎化・高齢化と米価の低迷により、農家経営の困難と後継者不足による農地の荒廃が進んでおり、耕地の保全管理体制を整え、農家経営を安定させ集落の活性化を図る必要がある。そこで平成11年に貝田村づくり委員会と一緒に集落を活性化させるための検討会を行い、景観の保全・形成について意識をして取り組んだのが始まりである。主作物である水稻の貝田米は古くから優良米の産地として知られているため、米を基本として集落の活性化を図るよう、集落を挙げて取り組んでいる。

農林業生産振興

共同での維持管理作業による作業労力の軽減化と、遊休農地の解消を図るために景観植物を植栽し、集団転作によるそば畑が5.4haある。

県下でも代表的な食味の良さを持つ貝田産の米に付加価値をつけて、より高い価格で販売ができるよう消費拡大を図っている。

集落環境の整備

秀峰大山を背景に優れた景観を持つ地区であるが、さらに生活環境を良くするため、**集落内全体に花を植え、花いっぱいのきれいな集落を目指すとともに、集落内の水路は自然のまま保存するために石積み等で整備し、魚が住み、環境にやさしく、自然豊かな農村の風情を醸し出す集落の環境整備を図っている。**

伝統文化保存伝承

現在、若い人達は自分たちの集落について学習することなく都会へ出てしまう者もいるが、貝田集落は昔から文化意識が高く、**夏祭り「貝田十五夜」が夏季の集落伝統行事として定着するなど、地域文化が次世代へと継承されている。**

祭りの主要行事である「こだいぢ踊り」「貝田の傘踊り」や、冬期の伝統行事である「荒神神楽」は地域の誇る生活文化として生活の中に溶け込んでいる。

都市農村交流活動等

集落に古くから伝わる伝統行事「大飯喰い」を活かし、平成11年度から開催した「大飯喰いフェスティバル」は町内外、特に京阪神から多数の参加者を迎えている。

大山おこわ、おにぎり、けんちん汁、漬物等のサービスを行いながら、コシヒカリ、地元産野菜、漬物等の販売を行い、地域の活性化、農家所得の向上を図るとともに、「傘踊り」「荒神神楽」等の披露により参加者との交流を深め好評を博している。

活動の規模

項目	H14	H15	H16	H17	H18
特別生産米生産				4.9	6.2
解説	単位：ha 栽培戸数はいずれも5戸				

項目	H14	H15	H16	H17	H18
集団転作による そば畑	17	17	23	20	19
	4.9	5.1	5.9	5.4	6.4
解説	上段：栽培戸数（戸） 下段：栽培面積（ha）				
イベント来客数	300	500	500	500	700
解説	単位：人 大飯喰いフェスティバル				

活用している地域資源

- ・優れた景観
- ・貝田の水稲
- ・集落伝統行事「貝田十五夜」、「こだいち踊り」、「貝田の笠踊り」、「荒神神楽」

地域活性化のポイント

恵まれた文化や歴史、そして自然を活用し、集落共同で様々な活動に取り組むことによって励みと共通の話題づくりとし、集落の活性化を図っている。また、都市住民との交流を行いながら、進んでいく高齢化、少子化、過疎化の問題に取り組む、若い人たちが我がふるさとに自信と誇りを持ち、ふるさとに残れるような活力とうるおいのあるむらづくりを集落が一体となって進めている。

事業の今後の展開方向

農林業生産振興

高齢化の進展により耕作放棄地、農地の遊休化が予想されるが、農地保全のために共同での維持管理作業を行い、労力の軽減化を図る。また、特別栽培により貝田産の米に付加価値をつけ、より高い価格で販売ができるよう消費拡大を図る。

集落環境の整備

大山を背景とした優れた景観を持つが、その美しい景観を保ち続けるためにも集落を挙げて環境の整備に努める。

伝統文化保存伝承

夏期の集落伝統行事として夏祭り「貝田十五夜」が続いており、この夏祭りの主要行事である「こだいち踊り」「貝田の傘踊り」及び、冬期の伝統行事である「荒神神楽」については集落の伝統文化として町内外から高い評価を受け、地元の誇りともなっている。さらにこれらの振興・継承を図って行くため、講習会の開催等を行いながら、集落をあげての取り組み体制の整備を図る。

都市農村交流活動等

集落と参加者が山、川、田んぼの自然を活かした交流を図り、貝田産米コシヒカリのPRと販売、加工品等特産品の提供を始めとする収入の場を創出しながら、より深く交流を進めていく。

